

# 北海道胆振東部地震災害からの復旧・復興に向けた主な取組状況（R5. 8. 1現在）

## ◆ 生活再建に向けた支援金の支給

「全壊」や「大規模半壊」等の住宅の被害程度に応じて、最大300万円を支給

（国は1/2補助）

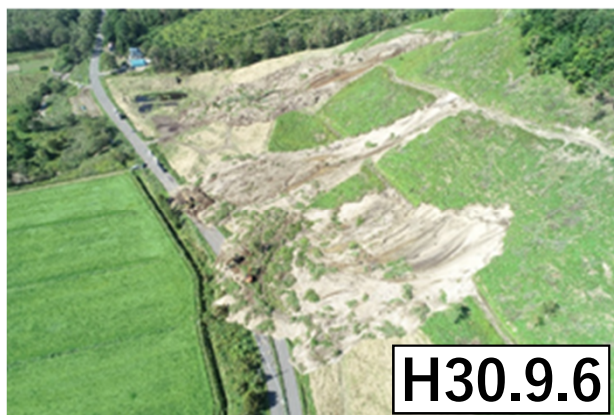
＜令和5年6月末現在＞

支給決定 2,044件 （前年比：+21件）

# ◆ 公共土木施設等（道路、橋梁、河川等）の復旧

平成31年3月から本格的な復旧工事に着手  
→令和4年3月末、522箇所全てが完了

インフラの復旧 ～道道平取厚真線（土砂崩れ）～



## ◆ 学校施設の復旧

安平町早来中学校以外の道立学校、市町村立学校、私立学校は令和2年3月までに全て完了

### 早来学園の施設整備・開校

早来中学校と小学校3校を統合する義務教育学校として、令和3年着工、令和4年11月完成、令和5年4月開校



安平町立 早来学園

## ◆ 森林・林業被害からの復旧

区分	取組状況
・ 治山施設等の復旧	・ 人家等が近接する林地の崩壊地や被災した治山施設 → 令和3年度（災害復旧事業）（完了） ・ その他保全対象のある崩壊地 → 治山対策継続
・ 森林の復旧	・ 「胆振東部地震森林再生実施計画」（R4.3策定）に基づき、令和4年度から本格的な被害木の搬出・植林
・ 林道等の復旧	・ 損壊した林道 → 令和3年度（災害復旧事業）（完了）

### 今後の取組

被災森林の一日も早い復旧を図るため、「胆振東部地震森林再生実施計画」に基づき、森林整備が必要な箇所への作業道等の早期整備や植林、治山対策などを推進

## ◆ エネルギー供給等の強靱化

非常時にも対応可能なエネルギー地産地消の事業化や地域マイクログリッドの構築等に対する支援を実施

### 被災地（厚真町）における事業実施内容

□ゼロカーボン地域  
プロジェクト支援事業  
(令和4年度～)

太陽光発電や充放電設備等の設置

⇒ 光熱費の低減や非常時の電力確保

□エネルギー地産地消  
事業化モデル支援事業  
(令和元年度  
～令和3年度)

木質バイオマス発電、太陽光発電及び蓄電池の整備

⇒ 非常時の電力供給やバイオマス発電の排熱を利用した農作物栽培

## ◆ 復興・創生に向けた取組

### ① 被災3町及び北海道の連携事業

□ 復興まちづくりサミット2023 【9/22】

他県の被災地関係者による講演や3町を交えたトークセッションにより、それぞれの地域の復旧・復興の取組を振り返るとともに、今後の地域創生に向けた機運醸成を図る

### ② 本庁及び胆振総合振興局の実施事業

□ 復旧・復興パネル展（本庁舎1階） 【9/5～6】

□ 道央道有珠山SAでの物販・パネル展示 【9/16】

□ 被災森林バスツアー（協力企業向け） 【10月】

□ 被災地復興現地視察会（仮称、一般向け、被災3町） 【10月頃】

□ いぶりフェアでの物販・パネル展示 【10月大阪、2月札幌】